

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	303.8	知的障害者授産施設送迎サービス事業	会計	01	一般会計
基本施策	5	障害のある人の自立した生活を支える	款	03	民生費
			項	01	社会福祉費
			目	04	障害福祉費
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		細目	101	障害者福祉一般事業
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	細々目	01	障害者福祉一般経費
		22-9657			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	知的障害者授産施設「上野ひまわり作業所」「びいはいぶ」「ふっくりあハウン」の利用者で、自力で通所することが困難な利用者	送迎サービスを実施することにより、地域生活に必要な訓練や学習、作業等を通じて社会参加・自立促進に繋げる			
本年度事業内容	実施施設:上野ひまわり作業所、びいはいぶ、ふっくりあハウン 利用者負担:利用者より月額2,000円を徴収				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	健康福祉部関係補助金等交付要綱

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳(千円)	事業費(B)	384	384	384
	補助金	384	384	384
合計(A+B)		1,104	1,104	1,104
財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	1,104	1,104	1,104
上記 ~ に関する特記事項	補助額は、2,000円×12月×16名			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用者(上野ひまわり作業所等)	人	60	60	60			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者適用比率 (交付者数 / 対象者数)	当補助金制度の対象者の人数を分母とし、補助金交付者数を分子とする対象者の適用比率を指標とする。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧上野市から補助を行ってきた経緯があり、今後増額しない方針である。</li> <li>・平成17年度実績では、送迎サービスにかかる経費の約1割を補助している計算となる。</li> <li>・他の施設では実施していないため、均衡を図る必要がある。</li> </ul>
---

評価	必要性	3	知的障害者施設の送迎に関しては、施設に通所する上で重要なサービスであるが、他の施設等では補助を行っていないため、均衡を図る上でも、補助の是非を検討する必要がある。	総合評価 <b>C</b>
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		